

発議案第4号

国における2022年度教育予算拡充に関する意見書について

上記議案を別紙のとおり、君津市議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

令和3年6月18日

提出者 教育福祉常任委員長 松本 裕次郎

君津市議会議長 嶋田 剛 様

提案理由

充実した教育を実現させ、子どもたちの教育環境の整備・拡充を進めるため、国に対し、教育予算の充実を求め、意見書を提出するものである。

国における2022年度教育予算拡充に関する意見書(案)

教育は、憲法・子どもの権利条約の精神に則り、日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っている。しかし現在、日本の教育は「いじめ」、「不登校」、さらには経済格差から生じる教育格差・子どもの貧困等、さまざまな深刻な問題を抱えている。また、各地で地震や豪雨、台風などの大規模災害が立て続けに発生し、少なからず学校に影響があるといわざるをえない。

さらに、国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境の整備促進が求められるため、さまざまな教育諸課題に対応する教職員定数の確保等が急務である。

千葉県及び県内各市町村においても、一人ひとりの個性を尊重しながら、生きる力と豊かな人間性の育成をめざしていく必要がある。そのためのさまざまな教育施策の展開には、財政状況の厳しい現状をみれば、国からの財政的な支援等の協力が不可欠である。充実した教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を一層すすめる必要がある。

そこで、以下の項目を中心に、2022年度にむけての予算の拡充をしていただきたい。

- ・災害からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分にはかること
- ・少人数学級を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること
- ・義務教育教科書の無償制度を堅持すること
- ・現在の経済状況に鑑み、就学援助、奨学金事業に関わる予算をさらに拡充すること
- ・子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること
- ・老朽化等による危険をとまなう校舎の改築、登下校の安全対策、更衣室、洋式トイレ、特別教室等の空調設備設置等の公立学校施設整備費を拡充すること
- ・感染症に伴う臨時休校等により、児童・生徒が健康面・学習面で不安やストレスを感じることをないよう財政措置を拡充すること

など

国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であることを再認識され、国財政が非常に厳しい状況の中ではあるが、必要な教育予算を確保することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年6月18日

君津市議会

内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣
総務大臣

あて